

〈企画展〉

高橋義樹文庫開設記念

高橋義樹が 見た 横井庄一の 帰還

2024年 4/3 水 ▶ 6/30 日

28年間、ジャングルに潜みつづけた男と、餓死寸前の姿でアメリカ軍の捕虜となり戦後すぐに帰還した男、両者の運命を分けたものとは……
1972年、戦争の記憶を漂わせたまま、グアムのジャングルから日本へ帰還した横井庄一は、日本中に衝撃を与えました。なぜ 28年もの間、うすうす戦争終結を知りながらも孤独に潜みつづけたのか、どんな生活を送り、生きながらえることができたのか、と好奇の目が向けられます。そんな中、同じく玉砕の島グアムをさまよった経験を持つ高橋義樹は、「恥ずかしいけれど戻ってきました」と会見で語る横井庄一の姿に、何を見たのでしょうか。



開館時間：10時から17時（入館は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日・火曜日

入館料：大人500円・中高生200円・小学生100円

（入館料で企画展を観覧いただけます。）

主催：公益財団法人ブルボン吉田記念財団

協力：高橋幸子 高橋美加子 幡新大実 名古屋市博物館

毎日新聞社 株式会社ブルボン（敬称略）



高橋義樹 [1917～1979]

元同盟通信・共同通信記者。太平洋戦争時、海軍報道班員として従軍したグアムで捕虜になり、ハワイの収容所に送られる。そこで訊問官のドナルド・キーンと出会う。両者は戦後の日本で再会し親交を深めた。また、同じグアム島に潜伏していた横井庄一に関心を寄せ、1972年『グアム島の生と死』を刊行している。

ドナルド・キーン・センター 柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

新潟県柏崎市諏訪町10-17 TEL 0257-28-5755

www.donaldkeenecenter.jp/

2024年館内
リニューアル

「高橋義樹文庫」開設

企画展示室の新設

2階展示室の一部回遊化

OPEN

ドナルド・キーンと平和

2024年8月3日（土）～9月29日（日）

2023年、東京都北区で開催された平和祈念週間関連企画展「ドナルド・キーンと平和」より、井伏鱒二『黒い雨』を語る直筆原稿（『日本文学を読む』『井伏鱒二』新潮選書 1977）を展示します。